

令和7年度 よつば2組 学級経営案

男 5人 女 0人 合計 5人 担任 深水 碧

学校教育目標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前つ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るい挨拶、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもく掃除
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学級目標

- 相手の気持ちを考えて、優しい声掛けや行動をすることができる児童
- 話をしっかりと聞き、課題に最後まで取り組むことができる児童
- 元気に体を動かし、苦手なことにも挑戦することができる児童

具体的な取組

評価

I II III

目標する児童像	かかしなく確かな学力	1 スモールステップで個別指導を行い、くり返し練習することで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 2 話の聞き方の掲示や声かけを行い、話を最後まで聞く態度を養う。 3 仕切りやヘッドホンを活用し、集中して学習に取り組めるようにする。 4 個に応じたワークシートを活用し、学習内容の確実な定着を図る。		
	なつかよくなじみ	1 計画的にソーシャルスキルトレーニングを行い、場や相手に応じた言動がとれるようにする。 2 交流学級の友達との学習の場を計画的に取り入れるなど、多くの人と関わる環境をつくる。 3 帰りの会でがんばったことや友だちの良かったところを発表し合い、他の良さを認め合うことができるようとする。		
	元気よくなじみ	1 朝食摂取の有無や就寝時刻、テレビやゲーム時間等の確認を定期的に行なながら声掛けをすることで、基本的な生活習慣が身に付くようにする。 2 休み時間には声掛けをし、外遊びの習慣化を図る。 3 自立活動の時間に、体を動かす時間を取り入れ、体力の向上を図る。		
	郷土愛	1 現地見学や交流学習において、事前に交流の内容や目的等について確認し、地域の人との関わりを楽しむことができるようとする。 2 生活科や社会科、総合的な学習の時間等で地域の人材や素材を活用し、地域の良さに気付くことができるようとする。		
	特別支援教育	1 写真やカード等の視覚支援を使い、学習の理解を深める。 2 学習の流れを提示し、見通しをもって学習できるようとする。 3 交流学級担任や支援員の先生方と情報共有や共通理解をして、児童の実態に応じた支援を行うようとする。		
	その他	1 花や野菜の栽培活動を通して、自然を大切にする心を育てる。 2 学校の決まりや交通ルールの確認を行い、安全への意識を高める。		
学期評価 (達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成)				